

令和7年度 北海道中学校体育大会 卓球大会における熱中症防止対策及び競技進行が困難な場合における代表選手・チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【卓球大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・大会中は競技の妨げとなる日光（とその反射）や風による影響に配慮した形で、会場内への外気の取り入れや換気を常時行う。
- ・定期的な WBGT（暑さ指数）の測定とともに、WBGT が 25℃以上になった場合は継続的に会場にいる競技者や役員への休息時間の確保を行う。また、WBGT が 28℃以上になった場合は競技を一度止めて、会場内の一斉換気の実施と競技者や役員などの休息時間を確保する。

● 競技が進行できない場合の代表選手・チームの選出方法

○【基本的な考え】

- ・上記の理由で競技を中止し、大会期間中に代表校の選出が困難であると判断した場合は、後日代替の試合などは行わず、その時点で勝ち残っているチーム（選手）の中から全国大会への参加の確認をとった上で、参加を希望するチームの中から抽選で代表チーム（選手）を選出する。
- ・抽選については、団体戦はチームの監督、個人戦は選手自身によるくじ引きを行う。

○【熱中症特別警戒アラートにより競技が進行されずに大会が中止になった場合】

- ・個人戦、団体戦ともに連盟大会の成績をもとに選出および抽選を行う。
- ・選出および抽選については全国大会への参加の確認をとった上で、参加を希望するチームの中から代表チーム（選手）を選出する。

（１）個人戦

- ・前年度の北海道選手権（カデットの部）の成績をもとに選出する。
- ・選出対象は中体連全道大会出場の権利を有している選手とする。
- ・１４歳以下優勝、１３歳以下優勝、１４歳以下２位、１３歳以下２位の順に選出する。
- ・それ以降は基準をＡ～Ｃまで設け、その中で抽選を行い、全国大会代表の１０名を順番に選出する。抽選の順はＡ、Ｂ、Ｃの順とする。
- ・基準Ａ）１３歳以下ベスト４、１４歳以下ベスト４
- ・基準Ｂ）１３歳以下ベスト８、１４歳以下ベスト８
- ・基準Ｃ）１４歳以下ベスト１６
- ・抽選については北海道中体連専門委員会で行う。

（２）団体戦

- ・前年度の道新杯全道中学選抜大会の成績をもとに選出する。
- ・選出対象は中体連全道大会出場の権利を有しているチームとする。
- ・優勝校、準優勝校を選出する。
- ・それ以降は基準をＡ～Ｂまで設け、その中で抽選を行い、全国大会代表の３チームを選出する。抽選の順はＡ、Ｂの順とする。
- ・基準Ａ）ベスト４
- ・基準Ｂ）ベスト８
- ・抽選については北海道中体連専門委員会で行う。

※成績上位校に所属していた選手を母体とする地域クラブ活動の参加があった場合は、道中体連専門委員会では該当チームを抽選に含むかどうか協議する。